

## くじの方法

- ① 本件の管理番号の下4桁1952と当該参加者数（※1）の合計数を見積額が同額の参加者人数で割り、余りの値を算出します。
- ② 電話番号の下4桁の小さい順にくじ番号（※2）を決めます。
- ③ ②で決定したくじ番号と、①で算出した余りの値が一致した参加者に広告欄の使用枠数と位置確認（以下、広告欄決定連絡という。）の連絡をします。（余りが「1」の場合はいくじ番号「1」、余りが「0」の場合はいくじ番号が最後の参加者に。）
- ④ くじ当選者に連絡後に、広告枠に余裕がある場合は、当選したくじ番号の次のくじ番号の者（くじ当選者のくじ番号が最後の場合は1番の者）に広告欄決定連絡をします。広告枠に余裕がある限り、順次、広告欄決定連絡をします。

### ※1 当該参加者数

- ・見積書が提出された参加者の数です。

### ※2 くじ番号

- ・参加申込書に記載された電話番号の下4桁の小さい順（0000を最も小さいものとする。）から①、②・・・とします。同じ番号があった場合は、市内局番の小さい順とします。
- ・携帯電話「090-1234-5678」の場合の市内局番は、「1234」として取扱います。

### 例) 広告枠が残り3つのとき

管理番号下4桁の1952、入札参加者9社、見積額が同額の参加者人数が3者（A者、B者、C者）で、電話番号の下4桁は、A者：0108、B者：5001、C者8556。

- ・ $(1952+9) \div 3 = 653$ 余り「2」
- ・くじ番号：A者が1、B者が2、C者が3

◎余りが「2」なので、くじ番号が2のB者に広告欄決定連絡をする。

このとき、B者が広告枠3つすべての使用を希望した場合は、A者とC者は落選となり広告を掲載できない。しかし、すべて使わなかった場合は、くじ番号が次の番号であるC者に広告欄決定連絡をする。同様に、C者が広告枠を使用し、それでも広告枠に余裕がある場合はA者に広告欄決定連絡をする。